

3・11郡山現地へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2015年2月14日
No.266

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

A君奪還! 原発再稼働阻止! 安倍打倒! 2・12福島大キャンパス集会打ち抜く!

2月3日のAくんの不当逮捕から約10日間、我々は連日の金谷川駅や福島大門前での宣伝活動、裁判所や警察署への抗議活動、2月10日の記者会見など反撃に次ぐ反撃に打って出ました。その中でこの「事件」を社会問題化し、ただの「暴行・傷害事件」で終わらせるのではなく大学のあり方を問うものとして、2月12日に福島大学キャンパス内での集会に打って出ました。

当日は早朝から金谷川駅前での宣伝活動を行い、福島大生や周辺住民に最後の集会結集を訴えました。昼休み前となり、我々が生協前に幟を林立させて登場すると、約10人の当局職員が待ち構えていました。そのうちの一人が樋口君に「無許可の集会は禁止だから」と一言述べると彼らは遠巻きに並び、我々やキャンパスを歩き交う学生を監視、撮影などで威圧してきました。しかし、過去の集会のようにビラ撒きや拡声器での演説を止めに来ることはできず、我々の反撃への動揺と弱さ・不正義性を露呈することしかできません。

集会は樋口君の基調提起から始まりました。同日2月12日に行われる安倍の施政方針演説と原子力規制委員会の浜岡原発再稼働の許可決定に触れ、「原発再稼働と戦争、



当局に抗議文を提出する福島大・樋口君

そして福島切り捨てに突き進む安倍政権に対し、福大生が先頭に立って声をあげる」と力強く宣言、2月3日の福島大当局と警察権力が一体となった弾圧の本質は「原発や先導に反対して学生が立ち上がるという当然のことを叩きつぶす、非常に許しがたい行為」と弾劾し、3・11以降に福島大当局が行ってきた反原発運動つぶしを暴露しました。最後に改めて3・11反原発福島行動'15への結集を訴えました。

神子副学長へ抗議文を提出し、続いて3・11反原発福

再稼働、戦争、首切り もうたくさんだ 怒りを力にたちあがろう つながろう

3.11反原発福島行動'15

〈日時〉 3月11日(水) 13時~ ※12時からイベント
〈場所〉 郡山市民文化センター・大ホール(集会後、デモ行進)
〈呼びかけ〉 3・11反原発福島行動実行委員会
〈メール〉 3.11fukushimaaction@gmail.com



島行動実行委員会の椎名千恵子さんは「福島大学が戦争や原発再稼働の側に立つのか、それとも命の側に立つのかが今問われている」と発言、神奈川大学の吉田耕くんは当事者の立場から今回の「事件」が許し難いでっち上げであることを暴露しました。更に東北大学学生自治会委員長の澤田光司くんが「学生が立ち上がれば大学当局の支配は打ち破れる、3・11集会の成功で反撃しよう」と訴え、全学連書記長の坂野陽平くんが安倍政権の推し進める原発再稼働、戦争攻撃との対決としてこの集会と3・11集会を勝ち取ることを宣言、最後に再び樋口くんによる基調提起を行いました。

今回の集会に至る過程で福島大学における学生支配のあり方とその脆弱性が改めて明らかになりました。春休み前でいつもより通行する学生が少なく、職員による監視や圧力の中でも着実に我々の主張は浸透していくのを感じました。新たな福島大生の決起は待たなしです。

2・14福島警察署直撃デモー2・15国鉄集会ー3・11反原発福島行動の爆発で安倍政権を打倒しよう！



神奈川大1年・吉田耕君



全学連書記長・坂野陽平君



東北大学学生自治会委員長・澤田光司君



3・11反原発福島行動実行委員会・椎名千恵子さん

【当面する行動方針】

●武田雄飛丸君「暴行」でっち上げ裁判・第8回公判

2月23日(月) 10時～ 東京地裁429号法廷にて ※傍聴券配布のため、9時半までに裁判所入口脇に集合してください。

●武田雄飛丸君「暴行」でっち上げ裁判・第9回公判＝判決

3月18日(水) 13時半～ 東京地裁429号法廷にて ※傍聴券配布のため、13時までに裁判所入口脇に集合してください。

●武田雄飛丸君「無期停学処分」撤回裁判・第9回弁論

3月13日(金) 11時～ 東京地裁615号法廷にて ※傍聴券配布のため、10時半までに裁判所入口脇に集合してください。

●“市東さんの農地死守!” 3・29三里塚全国総決起集会

3月29日(日) 正午～ 成田市栗山公園(旧市営グラウンド)にて

